

議 事 概 要

会 議 名	平成25年度 第1回 海津市地域公共交通会議
日 時	平成25年12月5日（木）10:00～12:00
場 所	海津市役所海津庁舎 1階大会議室
出 席 者	委員21名 事務局4名
議 題	1 会長の選任及び副会長の指名について 2 海津市公共交通会議設置要綱の改正について 3 海津市公共交通の概要・現況について 4 公共交通基礎調査業務委託について
議 事 概 要	

議題

議題1 会長の選任及び副会長の指名について

- 会長を後藤副市長に選任
- 会長から副会長を指名
 - ・副会長 自治連合会長宮脇信幸

議題2 海津市公共交通会議設置要綱の改正について

- 事務局からの説明（資料1-1、1-2に基づき説明）
 - ・要綱改正
 - ・総合交通連携計画 生活交通ネットワーク計画 地域協働推進事業計画
- 委員からの質問・回答、意見・提案等
 - ・資料1-2について、推進事業計画は平成26年になるのか。
 - 平成26年については地域公共交通総合連携計画と生活交通ネットワーク計画まで策定したい。地域協働推進事業計画は次年度以降と考えています。
 - ・地域会議（住民意見交換会）の実施時期、方法はどうか。
 - 調整中で、各自治会に回覧、周知し、市内10地域（小学校区）で開催する予定です。参加する皆さんそれぞれが意見を出しやすい形として、グループ単位で意見交換する（WS形式）形を想定しています。
 - ・内容については、本会議にかけて進めるのか。
 - 計画担当所管課と外部コンサルタントの協力を得て実施し、会議内容（結果）は次の会議（3月予定）で報告する予定です。
 - ・本会は地域公共交通総合連携計画の策定を中心に、皆さんと一体を考えていく場になる。今度の地域での意見交換の内容を踏まえて、計画の内容を考えていくことになる
 - ・資料1-2に示される事項を平成27年6月末までには策定し国へ提出する必要がある。ので、遡って策定段階のスケジュールリングも検討頂きたい。

○海津市公共交通会議設置要綱の改正について可決

議題3 海津市公共交通の概要・現況について

- 事務局からの説明（資料2に基づき説明）
 - ・海津市公共交通の概要・現況
- 委員からの質問・回答、意見・提案等
 - ・この計画をつくる公共交通体系の目的、趣旨が出てきていない。そのあたりを明確にし

て頂きたい。今後もう少し実態が分かるような内容を提示してもらいたい。今後、総合的にネットワークできるように検討すべきだと考えている。

- ・鉄道とバス等との連携を図ってきているが、さらに利便性向上のため今後も努力していきたい。しかし今後の利用状況は厳しいものと予想している。

- ・今後実施するアンケート結果などのニーズを踏まえて、努力していきたい。

- ・今度の調査で利用者の皆さんのニーズをうまく捉えてもらいたい。

- ・資料２のＰ２、成果指標についてはどのように設定されたのか。同じくＰ１０、将来人口３８千人はどのように算出されたのか。この実現に向けた財政根拠はどうか。

→成果指標は、この計画の上位にあたる総合計画の内容で、本計画でも同じ目標として掲げていこうとするものです。将来人口は、総合計画の目標値です。達成に向けた根拠等は次回報告とさせていただきます。

- ・これらの事項は平成２６年度事業に関係すると思う。この３か月でもどのように具体化するか考える必要があるのではないか。

→総合計画では公共交通に関する問題があるということを位置付けて、本計画がその実現を担う関係になっています。具体的内容は平成２６年度の検討事項で、今年度中はその基礎調査を実施し、市民ニーズの把握などに充てたい。

→市の人口は推計値のままでは今後減少ということになるが、市として、人口１,０００人増を確保していくには、子育て支援策、学校の整備、健診の充実から、市民協働の推進まで多様な対策を図っていくものです。その上で、本計画としても来年度、効率・利便性の高いバスとしていくなど計画の具体化を検討していきます。本会でもご提案を頂き、より良いまちづくりを推進していきたい。

- ・松岡委員：資料２に示される各データと実態との関連性が見えにくい。時間帯ごとの利用状況などデータはあると思う。そういった具体的なところを示す必要があると思う。

→資料データを補完、再整理して提示します。

- ・病院等の移送を受ける場合があつて、西美濃厚生病院など離れた施設があるが、そういった場所に関連した運行があるか確認したい。

→病院等の経路については医師会病院、養南病院にはアクセスしていますが、その他個人病院等へのアクセスは悪いこともあります。アンケート調査で市民ニーズも確認して、今後検討していくところであります。

- ・資料２、Ｐ２の成果指標になっているアンケート結果（平成２２年）値は、不満：５９．１％ということだが、残りは満足していると考えていいのか。

→回答数値では、満足が３．９％、どちらかといえば満足が８．３％であり、残り大半は普通という結果です。

- ・資料２のＰ５、コミュニティバスの車両台数と運行本数について、東、南回り線の定員数は本当に必要なのか。また、各路線の運行上の任意保険の関係はどうなっているのか。

→任意保険については全車両分を管理している。

→東回り線については、小学生が多く利用する停留所が２か所あり、２０～３０人が乗車する状況もあるので定員数を確保しておく必要はあります。

○海津市公共交通の概要・現況について可決

議題４ 公共交通基礎調査業務委託について

○事務局からの説明（資料３－１から３－３に基づき説明）

- ・基礎調査業務計画
- ・アンケート項目一覧

・アンケート票（案）

○委員からの質問・回答、意見・提案等

- ・アンケート配布数について、ある地域が極端に少なくなるようなことが無いようにして頂きたい。属性分析については高校生、大学生を分けて頂きたい。

→アンケート対象者は住民基本台帳から無作為で抽出します。回収は40%程度と見込み、属性区分は高校生、大学生を区分するよう修正します。

- ・住民意見交換会とアンケート調査を平行して実施されるが、良く議論してもらえよう、市の公共交通等の現状を示す資料は、運行距離、利用人数、利用者あたりの行政負担といったところなども提示した方が良いと思う。

この調査で、例えばコミュニティバスで何をサポートしようとするのか、また、観光利用者ニーズの視点もあると思うがどう考えるのか、そうした所がまだ抜けているのではないか。

アンケート票（案）は、少々検討が必要だと思う。例えば、問1、移動手段については、利用の時間帯まで聞くとか、利用交通手段の設問は、回答としては同じでも質の違う状況を含む危険性が高くなったりする。後に詳細に指摘しておきたい。

→今後の意見交換会に向けて、ご指摘を踏まえ、わかりやすい資料を準備して開催していきたい。観光の視点についても、当該箇所でのヒアリング等についても検討し、アンケート票についてもご指導頂き、手直しをもって実施をお願いしたい。

○公共交通基礎調査業務委託について可決

その他

○事務局から今後のスケジュールについて説明

閉会